

斜面の動きを知る方法 -計測結果の活用方法とその課題-

斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価 研究委員会成果報告会

および

平成 30 年 7 月豪雨災害の調査中間報告

主 催：公益社団法人地盤工学会関西支部

(公社)地盤工学会関西支部では、斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会(委員長：立命館大学 深川良一)を立ち上げ(平成27年度～29年度)斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価手法を確立するために、斜面変状の測定・通信手法の検討や実際の現地モニタリング、その結果の評価ならびにモニタリング結果の活用方法について議論してきた。

本報告会では、委員会の活動成果について会員ならびに一般の方に報告するとともに今後の斜面動態モニタリングの利活用とその課題について議論する機会とした。また、本委員会成果報告書を配布します。本報告会の後、平成30年7月豪雨災害の調査中間報告を開催します。是非この機会に奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願い致します。

(1) 日 時： 平成30年9月10日(月)13:00～17:00

12:30より受付

(2) 場 所： 建設交流館 グリーンホール

(3) 参加費： 正会員・特別会員・共催団体の会員 2,000円
非会員 5,000円
学生会員 1,000円

(4) 定員：200名

(5) プログラム(予定)：

13:00-13:05 開会挨拶

(公社)地盤工学会関西支部支部長 南庄 淳、
一般財団法人 阪神高速道路技術センター 理事長

13:05-13:10 委員会活動の概要

深川 良一 委員長、立命館大学 教授

13:10-13:35 既往計測技術や評価方法について

檀上 徹 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 特別研究員

13:35-14:00 斜面の動態モニタリングの事例

小田 和広 大阪産業大学 教授

笹原 克夫 高知大学 教授

14:00-14:25 モニタリング計測における利活用について

小山 倫史 関西大学 准教授

14:25-14:35 休憩

14:35-15:25 委員会で実施した計測・評価・伝達の取り組みについて

・京都府綾部市安国寺の事例

小泉 圭吾 大阪大学 助教

矢野 晴彦 中央開発

・福井県福井市高須町の事例

小山 倫史 関西大学 准教授

佐藤 毅 アサノ大成基礎エンジニアリング

15:25－15:55 総合討論

15:55－16:00 閉会挨拶

深川 良一 委員長、立命館大学 教授

16:00－16:10 休憩

16:10－17:00 平成30年7月豪雨災害の調査中間報告

(6) G-CPD ポイント：3.5

(7) 申込み方法：参加ご希望の方は、①氏名、②所属、③所属住所、④所属先電話番号・FAX・メールアドレス、⑤会員・非会員の別をご記入の上、申込期限までに FAX または E-mail でお送りください。申込受付後、参加証・請求書・案内図をお送りいたします。なお、会費の納入は銀行振込(郵便振替・現金書留可)でお願いいたします。

(8) 申込み先：(公社)地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪府中央区谷町 1-5-7 ストークビル天満橋 801 号

TEL：06-6946-0393, FAX：06-6946-0383

e-mail：office@jgskb.jp, URL：http://www.jgskb.jp